

# COSMOSDesignSTAR 2007SP1.1 リリースノート

このドキュメントでは、COSMOSDesignSTAR(TM) 2007SP1.1 の更新情報について説明します。

## 一般情報 (General Information)

### インストール

COSMOSDesignSTAR 2007 がインストールされているマシンに 2007SP1.1 をインストールできます。

提供されるプログラムは ZIP 形式の自己解凍形式で提供されます。インストールプログラムをダブルクリックにより実行させると、「COSMOSDesignSTAR2007 プログラム」がインストールされているパスを確認する画面が表示されます。インストール画面のブラウザボタンを押して、「COSMOSDesignSTAR2007 プログラム」がインストールされているパスを選択して「Unzip」ボタンを押すことでアップデートインストールが実行されます。

一度 2007SP1.1 にアップデートすると元に戻すことができません。COSMOSDesignSTAR2007 プログラムのインストールを再度行う場合には、Windows のコントロールパネルにある「プログラムの追加と削除」メニューを使用して再インストールをおこなってください。

### 必要なシステム構成

確実にソフトウェアをインストールし、最適なパフォーマンスでお使いいただくために、お客様のシステム構成が次の条件を満たしていることを確認してください。

#### Microsoft®Windows オペレーティングシステム

- XP Professional (32-bit) ※1
- XP Professional (64-bit) ※2

#### 必要なコンピュータとソフトウェア

RAM	最低限：512MB RAM 推奨：1GB またはそれ以上 仮想メモリの割り当てを RAM の 2 倍に設定することを推奨
映像	推奨：公認の OpenGL ワークステーション グラフィック カードとドライバの組み合わせ
CPU	-Intel(R) Pentium(RM)®、Intel(R) Xeon(RM) ※3、AMD(R) Athlon(TM) 搭載のコンピュータ
その他	-マウスまたは他のポインタ デバイス -最低限：DVD ドライブ Internet Explorer バージョン 6.0 かそれ以降
ネットワーク	-COSMOSDesignSTAR 2007 は Microsoft Windows ネットワーク上でのみテストされています -Novell ネットワークと Windows ベースでないネットワークのストレージ デバイスはテストされておらず、推奨しません -COSMOS Network License Manager には TCP/IP ネットワーク サービスが必要です

※1 推奨: Windows XP Professional SP2

※2 64-bit オペレーションシステム上で、32-bit アプリケーションとして動作します。

※3 Intel(R) EM64T もサポートされます

### Windows 2000 サポート

COSMOSDesignSTAR 2007SP1 は Microsoft® Windows®2000 オペレーティングシステムではサポートされません。Windows2000 をご使用中のお客様は、推奨オペレーティングシステムにアップグレードするようにしてください。

### CAD アプリケーションとの互換性

		部品		アセンブリ	
ファイル形式	サポートバージョン	インポート	エクスポート	インポート	エクスポート

ACIS	ACIS トランスレータはバージョン R15 までのすべての SAT ファイルをサポートします。	●	●	●	●
Autodesk Inventor	Inventor トランスレータは Autodesk Inventor2008 までのすべての Autodesk Inventor バージョンをサポートします。	●	×	●	×
SolidWorks	SolidWorks2007 までの全ての SolidWorks バージョンをサポートします。	●	●	●	●
CADKEY	CADKEY トランスレータは、CADKEYバージョン19の部品やアセンブリのファイルおよびバージョン21のマルチボディ部品ファイルのサーフェスやソリッドエンティティのインポートをサポートします。	●	×	●	×
CATIA model files	CATIA トランスレータは CATIA バージョン 4 をサポートします。また、CATIA トランスレータは、CATIA バージョン 5、リリース 2 から R16 までをサポートします。	●	×	●	×
DXF / DWG	DXF / DWG トランスレータは、バージョン 13 またはそれ以上の OLE オブジェクトのインポートとエクスポートをサポートします。	●	×	×	×
DXF 3D	DXF3D トランスレータは AutoCAD® R14 またはそれ以上のバージョン、D XF3D ファイルとサポートします	●	×	●	×
IGES		●	●	●	●
Mechanical Desktop	MDT トランスレータは、MDT4.0 以上をサポートしています。	●	×	●	×
Parasolid	Parasolid トランスレータは、バージョン 17 までのすべての Parasolid バージョンをサポートします。	●	●	●	●
Pro / ENGINEER	Pro / ENGINEER バージョン 17～2001 及び Wildfire バージョン 1 と 2 をサポートします。ただし、アセンブリフィーチャはサポートされません。	●	●	●	●
Solid Edge	Solid Edge トランスレータは、最新のバージョン 20.0 までサポートします。	●	×	●	×
STEP	STEP Application プロトコル AP203 & AP214 をサポートします。インポートの場合は、AP203 の Conformance Classes1、2 (サーフェスデータのみ)、4、5、6 をサポートします。	●	●	●	●
Unigraphics	バージョン 10 以降の Unigraphics II から UnigraphicsNX ファイルも含めて、部品やアセンブリをインポートすることができます。	●	×	●	×

VRML	VRML トランスレータは、VRML バージョン 2.0 ( VRML97 ) を含むすべてのバージョンをサポートします。	●	●	●	●
------	---	---	---	---	---

NOTE : ● = 読み込み可能、× = 読み込み不可

## 64-Bit サポート

COSMOSDesignSTAR2007SP1 は 32-bit アプリケーションです。

64-bit オペレーションシステム上で、32-bit アプリケーションとして動作します。

## 改善事項

- (1) AIS2008 までの全ての Inventor バージョンと SolidEdgeV20 までの全ての SolidEdge バージョンをサポートします。
- (2) 複数のサブアセンブリや構成部品を持つ SolidEdge と Inventor(2008SP1 以降)ドキュメントのジオメトリ更新できるようになりました。
- (3) Inventor2008 のサーフェスモデル(部品のみ)をサポートします。
- (4) 保存前のスタディに対して、ジオメトリの更新が反映できます。
- (5) 連携機能は複数ドキュメントが開いている場合または保存前のスタディにおいてもサポートされます。
- (6) 定常熱伝導解析において、温度依存の熱伝達係数が提供されるようになりました。
- (7) 3D コネクションのドライバがサポートされるようになりました。
- (8) オンラインチュートリアルが更新されました。修正項目は以下の点を中心に訂正されています。
  - 修正箇所
    - ・リモート荷重チュートリアルの修正
    - ・ボルトチュートリアルの修正
    - ・結果プロット方法の修正

## 制約事項

- (1) 固体要素とサーフェス要素が混在した Solid Edge モデルは COSMOSDesignSTAR2007 に転送できません。
- (2) サーフェスモデルまたはソリッドモデルとサーフェスモデルが混在した Inventor モデルはジオメトリが正しく更新されません。※4
- (3) 関連性機能を使用する場合は、ジオメトリを更新した後、解析フィーチャーをチェックすることを推奨します。ジオメトリの変更により、意図しない要素に解析機能が適用される場合があります。
- (4) COSMOSDesignSTAR 2007 は、COSMOSDesignSTAR 4.5 モデルを開くサポートをする最終のリリース版です。
- (5) インストールフォルダー名、パス名、またはファイル名に日本語が使用された場合、Catia ファイルは開くことができません。
- (6) COSMOSDesignSTAR 2006 と COSMOSDesignSTAR 2007 の共存が可能になっておりますが、COSMOSDesignSTAR 2006 と同じフォルダに COSMOSDesignSTAR 2007 をアップデートインストールするとうまくいきません。

(7) COSMOSDesignSTAR 4.5 モデルで作業をする場合

- COSMOSDesignSTAR 2007 は COSMOSDesignSTAR 4.5 モデルを開くサポートをする最終リリース版です。
- COSMOSDesignSTAR 4.5 のスケッチ分割ライン(インプリント)は転送されません。
- COSMOSDesignSTAR 4.5 の参照点は転送されません。拘束 PropertyManager で球面上 (On Spherical Face) オプションを使用し、球面上の拘束を指定してください。
- 複数の COSMOSDesignSTAR 4.5 のファイルを連続して開くことができません。2 回目のファイル読み込み操作時に、参照ジオメトリ要素が適切に転送されないメッセージが表示され、関連するフィーチャーが無効になります。この問題を回避するには、COSMOSDesignSTAR 2007 で、最初の COSMOSDesignSTAR 4.5 ファイルを読み込んだ後、ファイル保存を行い、必ず、一度 COSMOSDesignSTAR 2007 を終了させて下さい。その後、再度 COSMOSDesignSTAR 2007 を立ち上げ、次の COSMOSDesignSTAR 4.5 ファイルを読み込んでください。
- サーモスタットを含む非定常熱伝導解析スタディを開く場合は、スタディを実行する前にサーモスタットで熱流束と熱量を編集し、サーのスタットのチェックボックスを選択してください。

(8) COSMOSDesignSTAR2007SP1.1 は SolidWorks2008 をサポートしていません。SolidWorks2007 までのサポートとなります。

※4 Inventor2008SP1.1 で作成されたサーフェスモデルを DesignSTAR2007SP1.1 にてインポートする際の詳細情報

Inventor ファイルの種類	モデルの内容	インポート状況	ジオメトリ更新
部品	サーフェスフィーチャーのみ	●	×
部品	サーフェス、ソリッド混在モデル	● (DesignSTAR 上で別部品として認識され、アセンブリファイルとしてインポートされる。)	× (ソリッド部分のみ)
アセンブリ	サーフェスフィーチャーのみ	×	×
アセンブリ	サーフェス、ソリッド混在モデル	× (部品の位置がずれる)	×

NOTE : ● = サポートする、× = サポート不可